

20 年目の「SPAC シアタースクール」

SPAC の俳優 吉見亮が初演出！

発表会 2026『太陽の東 月の西』8 月 15 日・16 日静岡芸術劇場

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2007 年より始まった「SPAC シアタースクール」は、学校では触れる機会の少ない演劇の面白さや奥深さを、静岡県内の子どもたちをはじめ保護者の方々にも知っていただくことを目的に、これまでのべ 600 人以上の子どもたちが参加し、今年で**事業 20 年目**を迎えます。

今回のシアタースクールでは、**SPAC の俳優・吉見亮が初めて演出・脚本**を務めます。参加者はコロナ禍以降最多となる 49 名が県内各地から集まり、SPAC の俳優・スタッフの指導のもと、発声や俳優のための基礎的なトレーニング、楽器演奏などを通して「舞台に立つためのからだづくり」を学んでいきます。その成果発表会として 8 月 15・16 日、ノルウェー民話を題材とした音楽劇『太陽の東 月の西』を静岡芸術劇場にて上演します。

呪いでシロクマの姿となった王子を救うため、邪悪な継母がいる「太陽の東 月の西の城」へと向かう娘の冒険物語。『美女と野獣』の物語のルーツの一つとされる原作を元に、吉見が「約束」をテーマに戯曲を立ち上げます。音楽の生演奏にも例年以上に重きを置き、音楽家・棚川寛子の指導のもと、パーカッションを中心とした音楽創作に挑みます。

7 月 18 日からスタートする約 1 ヶ月のプログラムを通して、ぐんと大きく成長する参加者たち。吉見亮の初演出にもご注目いただき、ぜひお取り上げの程よろしく願いいたします。

SPAC シアタースクール 発表会 2026『太陽の東 月の西』

原作：ノルウェー民話『太陽の東 月の西』

出演：静岡県内の中学校 1 年生から高校 3 年生 49 名

演出・脚本：吉見亮

顧問：中野真希

アシスタント：大内智美、杉山賢、棚川寛子、藤見花

公演日時：2026 年 8 月 15 日(土)、16 日(日) 各日 16:00 開演

会場：静岡芸術劇場 (JR「東静岡駅」前グランシップ内)

チケット：一般:2,200 円 / 高校生以下:無料

※要事前予約(電話・窓口予約のみ) *7 月 19 日より一般受付開始

ご予約・お問い合わせ：SPAC チケットセンター

TEL. 054-202-3399(10:00~18:00)

他 公式サイト・劇場窓口でお取り扱い



【稽古日程】

7/18 (土) ~8/14 (金) 各日 13~17 時 場所：静岡芸術劇場リハーサル室

*8/14(金)は 12~18 時 (7/20、25、26、8/1、2、8、9 はお休み)



あらすじ：

貧しい家族を救うため、シロクマと結婚することになった娘。お城で何不自由なく暮らしていたが、ある日シロクマとの約束を破ってしまう。実はシロクマは、トロールの呪いで姿を変えられた人間の王子。娘が約束を破ったために呪いを解くチャンスは失われ、王子は「太陽の東、月の西」にあるお城で、おそろしい鼻長姫と結婚することに。果たして娘は連れ去られた王子を救い出し、再び結ばれることができるのか。知恵と勇気と行動力で、自ら愛をつかみ取る少女の冒険物語！

吉見亮 プロフィール：



2003 年より SPAC に所属。近年の主な出演作に『アンティゴネ』（宮城聡演出）、『うなぎの回遊』（石神夏希演出）、『ハムレット』（上田久美子演出）など。宮城作品に欠かせない俳優によるパーカッションの生演奏において重要な役割を担う。また、音楽家棚川寛子を中心とした「テーブルシアター」の上演や、朗読の指導、海外にルーツを持つ子どもたち向けのワークショップなども行う。

主催・製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター 静岡県芸術祭共催事業

助成:文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

お問い合わせやご取材は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 坂本」までご連絡下さい。

TEL：054-203-5730（舞台芸術公園）/ TEL：054-203-5730（静岡芸術劇場）/ E-mail：koho@spac.or.jp